

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	8	公共下水道費	300

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	下水道事業会計繰出金
事業目的	公共下水道事業により借り入れた企業債の元金償還及び人件費等に対して、一般会計より繰り出しをする。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○公共下水道事業繰出金</p>
事業の成果・効果	一般会計より繰り出したことにより、公共下水道事業の適切な事業運営が図れた。

II : 個別事業内訳

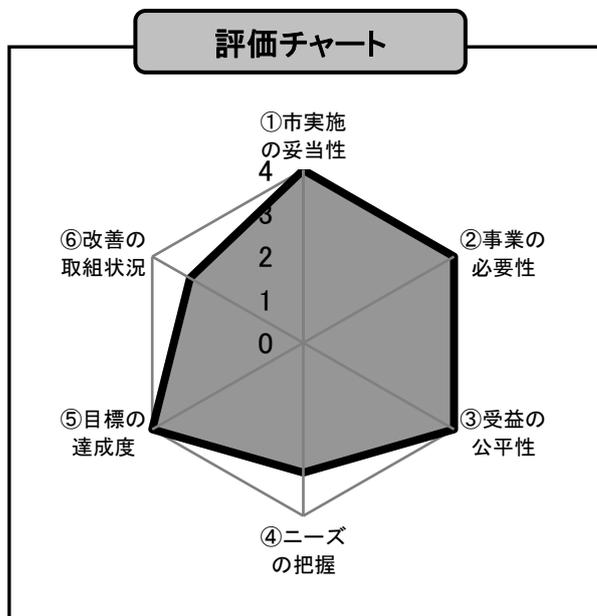
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
下水道事業会計繰出金	909,353	0	909,353	100%	3	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	909,353	0	909,353	100%	3	4	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		955,637	909,353	940,026
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	955,637	909,353	940,026
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。
②事業の必要性	4	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	公共下水道事業の運営及び施設の適切な維持管理・整備を、計画通り行った。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画などをまとめた経営戦略を策定した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画である経営戦略を策定した。 (公共下水道事業) 老朽化した管きよの調査及び更生工事を継続実施するとともに、支管部との一体化工事も実施した。
令和3年度に見直しを実施している事項	経営戦略に基づく事業運営。 (公共下水道事業) 老朽化した管きよの調査及び更生工事、支管部との一体化工事の継続実施。 公共下水道施設の維持管理を計画的に進め、不明水の削減を図り、効率的な事業運営を行う。 市街化区域及び前原台団地以外の下水道整備区域について、整備の在り方を検討。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、今後さらに調査研究を進めていく。 市街化区域及び前原台団地以外の下水道整備区域について、整備の在り方を検討。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果: 次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
(公共下水道事業) 管きよの維持管理(老朽化、不明水対策)	(公共下水道事業) 管きよの維持管理については、ストックマネジメント計画等に基づく更生工事による長寿命化及び老朽化による更新にて進め、不明水の削減を図っていく。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	4	土地改良費	264

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	下水道事業会計繰出金
事業目的	農業集落排水事業により借り入れた企業債の元金償還及び人件費等に対して、一般会計より繰り出しをする。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○農業集落排水事業繰出金</p>
事業の成果・効果	一般会計より繰り出したことにより、農業集落排水事業の適切な事業運営が図れた。

II : 個別事業内訳

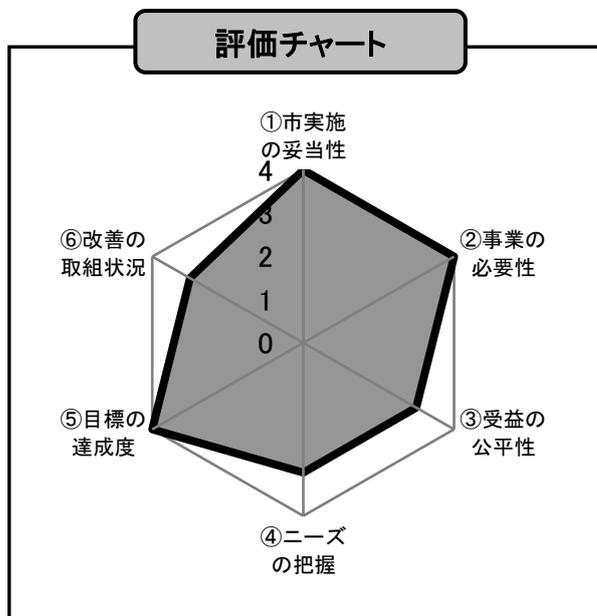
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
下水道事業会計繰出金	53,943	0	53,943	100%	3	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	53,943	0	53,943	100%	3	4	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		44,500	53,943	51,087
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	44,500	53,943	51,087
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	農業集落排水事業区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	3	農業集落排水事業区域の市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	農業集落排水事業区域の市民生活に必要な事業で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理・整備を、計画通り行った。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画などをまとめた経営戦略を策定した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画である経営戦略を策定した。
令和3年度に見直しを実施している事項	経営戦略に基づく事業の実施。 (農業集落排水事業) 管きよ施設のテレビカメラ調査及び更生工事の実施。
今後見直しを検討する事項	(農業集落排水事業) 農業集落排水施設の維持管理を計画的に進め、不明水の削減対策については、今後さらに調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果:次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
(農業集落排水事業) 処理場、管きよの維持管理(老朽化、不明水対策)	(農業集落排水事業) 処理場については、最適化構想等に基づく修繕、更新の実施、管きよについては、更生工事による長寿命化及び老朽化による更新にて進め、不明水の削減を図っていく。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	公共下水道事業・収益的収支
事業目的	公共下水道使用者から適切に料金徴収を行うとともに、下水道施設の適切な維持管理を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道使用者から適切に料金徴収を行い、下水道管きょ、マンホールポンプ場等の適切な維持管理を行う。 ・五条川右岸、左岸流域下水道維持管理負担金を支払う。 ・企業債の利子を支払う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○汚水管渠費 52,085千円 <ul style="list-style-type: none"> ・マンホールポンプ保守点検委託料 ・管路調査委託料、管路維持補修工事 ○普及指導費 14,474千円 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事務委託料 ○業務費 33,675千円 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道使用料徴収事務委託料 ○総係費 30,919千円 <ul style="list-style-type: none"> ・職員人件費等 ○流域下水道維持管理負担金 415,426千円 <ul style="list-style-type: none"> ・五条川左岸流域下水道維持管理費等負担金、五条川右岸流域下水道維持管理費等負担金 ○減価償却費 855,869千円 <ul style="list-style-type: none"> ・構築物減価償却費、機械装置減価償却費、施設利用権減価償却費 ○資産減耗費 13,827千円 <ul style="list-style-type: none"> ・構築物等除却費 ○支払い利息及び企業債取扱諸費 127,018千円
事業の成果・効果	公共下水道事業の運営及び施設の適切な維持管理を実施した。

II : 個別事業内訳

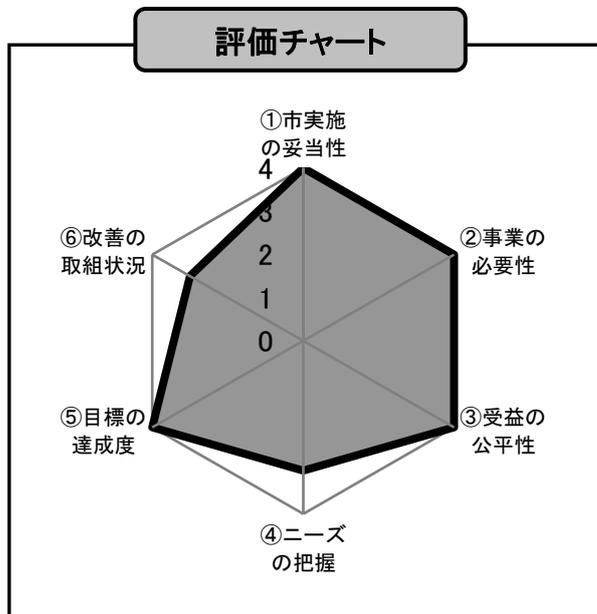
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
汚水管渠費	52,085	52,085	0	0%	3	3	3
普及指導費	14,474	14,474	0	0%	3	3	3
業務費	33,675	33,675	0	0%	3	3	3
総係費	30,919	30,919	0	0%	3	3	3
流域下水道維持管理負担金	415,426	415,426	0	0%	3	3	3
減価償却費、資産減耗費	869,696	869,696	0	0%	3	3	3
営業外費用、特別損失、予備費	128,220	128,220	0	0%	3	3	3
合計	1,544,495	1,544,495	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		1,471,348	1,544,495	1,575,843
財源内訳	国県支出金	4,500	7,100	6,750
	地方債	0	0	0
	その他	1,466,848	1,537,395	1,569,093
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。
②事業の必要性	4	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	公共下水道事業の運営及び施設の適切な維持管理を、計画通り行った。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画などをまとめた経営戦略を策定した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画である経営戦略を策定した。 老朽化した管きよの調査を継続実施した。
令和3年度に見直しを実施している事項	経営戦略に基づく事業運営。 老朽化した管きよの調査を継続実施。 公共下水道施設の維持管理を計画的に進め、不明水の削減を図り、効率的な事業運営を行う。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、今後さらに調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果:次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理(老朽化、不明水対策)	管きよの維持管理については、ストックマネジメント計画等に基づく更生工事による長寿命化及び老朽化による更新にて進め、不明水の削減を図っていく。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I：事業概要

施策事業名	公共下水道事業・資本的収支
事業目的	公共用水域の水質保全及び生活環境の向上のため、公共下水道の整備を行う。 大規模地震に備え管きよの耐震化を行う。 企業債の元金の償還を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・五条川右岸処理区及び五条川左岸処理区の前原台団地の下水道整備を行う。 ・大規模地震に備え、下水道施設の耐震化及びマンホールトイレの設置を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○公共下水道施設整備 295,574千円 <ul style="list-style-type: none"> ・五条川右岸処理区の整備（犬山中野地区外） ・前原1号汚水幹線の整備 ○公共下水道施設地震対策 49,105千円 <ul style="list-style-type: none"> ・可とう継手設置（橋爪、羽黒地区外） ・マンホールトイレの設置（楽田小学校） ○舗装復旧工事 51,072千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道整備後の舗装復旧（犬山北笠屋、南笠屋地区外） ○汚水管路改良 44,997千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づく、管きよの更生工事（楽田地区） ○流域下水道建設負担金 21,254千円 <ul style="list-style-type: none"> ・五条川左岸、右岸流域下水道建設事業負担金 ○企業債償還金 753,439千円 <ul style="list-style-type: none"> ・企業債償還元金
事業の成果・効果	五条川右岸処理区の7.3haを整備し供用を開始した。 前原台団地の接続に向けて、前原1号汚水幹線の整備を行った。 地震対策事業として、橋爪・羽黒地区外にて可とう継手を設置した。また、楽田小学校にマンホールトイレを設置した。 楽田地区において、管きよ更生工事を実施した。

II：個別事業内訳

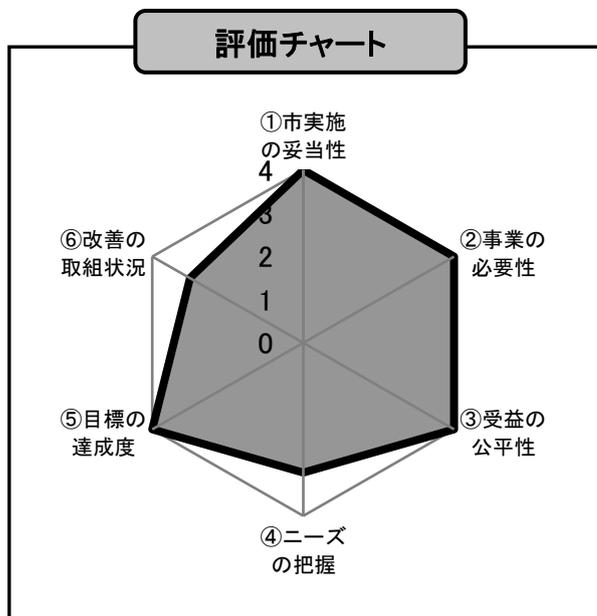
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
公共下水道整備	295,574	295,574	0	0%	4	4	3
公共下水道施設地震対策	49,105	49,105	0	0%	4	4	3
舗装復旧工事	51,072	51,072	0	0%	4	4	3
汚水管路改良	44,997	44,997	0	0%	4	4	3
流域下水道建設負担金	21,254	21,254	0	0%	3	3	3
企業債償還金	753,439	753,439	0	0%	3	3	3
—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,215,441	1,215,441	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		1,150,293	1,215,441	1,372,648
財源内訳	国県支出金	137,700	168,500	170,901
	地方債	169,400	218,900	373,700
	その他	843,193	828,041	828,047
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。
②事業の必要性	4	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	公共下水道施設の整備を、計画通り行った。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画などをまとめた経営戦略を策定した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画である経営戦略を策定した。 老朽化した管きよの更生工事を継続実施するとともに、支管部との一体化工事も実施した。
令和3年度に見直しを実施している事項	経営戦略に基づく事業運営。 老朽化した管きよの更生工事、支管部との一体化工事の継続実施。 市街化区域及び前原台団地以外の下水道整備区域について、整備の在り方を検討。
今後見直しを検討する事項	市街化区域及び前原台団地以外の下水道整備区域について、整備の在り方を検討。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果:次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理(老朽化、不明水対策)	管きよの維持管理については、ストックマネジメント計画等に基づく更生工事による長寿命化及び老朽化による更新にて進め、不明水の削減を図っていく。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	農業集落排水事業・収益的収支
事業目的	農業集落排水処理施設における農業用水の水質保全を目的とし、農村地域の健全な水環境に資するとともに、入鹿神尾地区の生活環境の向上のため、適切な施設の維持管理を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・入鹿神尾地区の農業集落排水事業は、平成8年度に事業に着手、平成12年度に事業が完了し、平成13年4月から供用開始をしている。 ・入鹿神尾地区浄化センターとマンホールポンプの適切な運転管理及び各種施設の計画的な維持管理を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○污水管渠費 4,481千円 <ul style="list-style-type: none"> ・マンホールポンプ保守点検委託料 ・マンホールポンプ維持補修工事 ○処理場費 11,372千円 <ul style="list-style-type: none"> ・処理場運転業務委託料 ・処理場機器類等営繕工事 ○業務費 185千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水処理施設使用料徴収事務委託料 ○総係費 18,877千円 <ul style="list-style-type: none"> ・職員人件費等 ○減価償却費 56,148千円 <ul style="list-style-type: none"> ・建物・構築物等減価償却費 ○資産減耗費 650千円 ○支払い利息及び企業債取扱諸費 3,230千円
事業の成果・効果	農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理を実施した。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

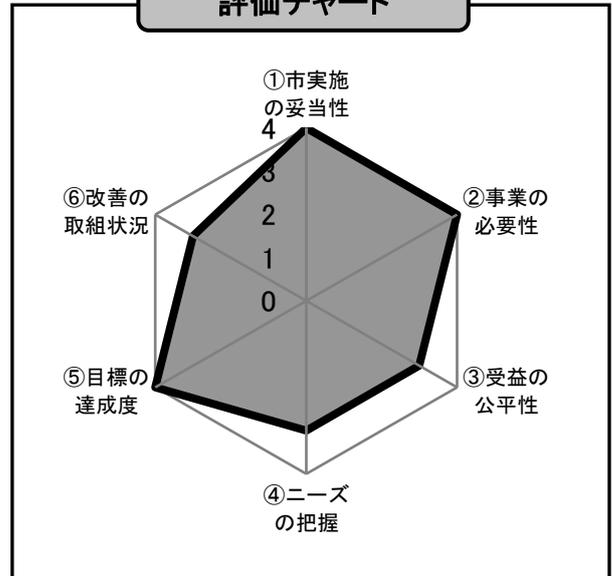
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
污水管渠費	4,481	4,481	0	0%	3	3	3
処理場費	11,372	11,372	0	0%	3	3	3
業務費	185	185	0	0%	3	3	3
総係費	18,877	18,877	0	0%	3	3	3
減価償却費、資産減耗費	56,798	56,798	0	0%	3	3	3
営業外費用、特別損失、予備費	3,230	3,230	0	0%	3	3	3
—	—	—	—	—	—	—	—
合計	94,943	94,943	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		98,277	94,943	74,279
財源内訳	国県支出金	1,137	1,848	2,400
	地方債	0	0	0
	その他	97,140	93,095	71,879
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	農業集落排水事業区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	3	農業集落排水事業区域の市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	農業集落排水事業区域の市民生活に必要な事業で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理を計画通り行った。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画などをまとめた経営戦略を策定した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画である経営戦略を策定した。
令和3年度に見直しを実施している事項	経営戦略に基づく事業運営。 管きよ施設のテレビカメラ調査の実施。
今後見直しを検討する事項	農業集落排水施設の維持管理を計画的に進め、不明水の削減対策については、今後さらに調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果:次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
処理場、管きよの維持管理(老朽化、不明水対策)	処理場については、最適化構想等に基づく修繕、更新の実施、管きよについては、更生工事による長寿命化及び老朽化による更新にて進め、不明水の削減を図っていく。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	農業集落排水事業・資本的収支
事業目的	処理場機器の改良工事を行う。 農業集落排水処理施設の建設に伴い借り入れた企業債の元金償還を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・入鹿神尾地区浄化センター内の機器等の計画的な改良工事を行う。 ・農業集落排水処理施設の建設に伴い借り入れた企業債の元金償還を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○処理場建設改良費 4,814千円 <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 ・処理場機器改良工事 ○企業債償還金 17,929千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水事業債償還元金
事業の成果・効果	農業集落排水事業の入鹿神尾地区浄化センター内の機械設備について、計画的な更新を行った。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

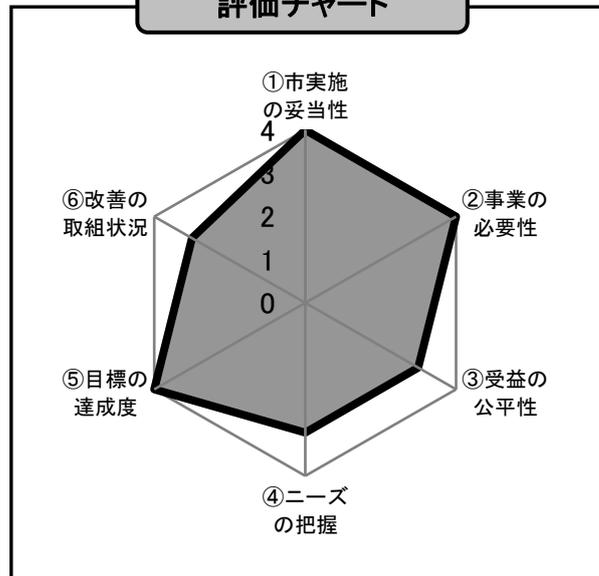
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
委託料	286	286	0	0%	3	3	3
処理場機器改良工事	4,528	4,528	0	0%	3	3	3
企業債償還金	17,929	17,929	0	0%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	22,743	22,743	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		21,316	22,743	23,353
財源内訳	国県支出金	0	1,452	230
	地方債	0	0	0
	その他	21,316	21,291	23,123
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて管理する必要がある。
②事業の必要性	4	農業集落排水事業区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	3	農業集落排水事業区域の市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	農業集落排水事業区域の市民生活に必要な事業で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	農業集落排水事業の入鹿神尾地区浄化センター内の機械設備について、計画的な更新を行った。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画などをまとめた経営戦略を策定した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	経営の基本方針、今後10年間(令和11年度まで)の投資・財政計画である経営戦略を策定した。
令和3年度に見直しを実施している事項	経営戦略に基づく事業の実施。 管きよ施設の更生工事の実施。
今後見直しを検討する事項	農業集落排水施設の維持管理を計画的に進め、不明水の削減対策については、今後さらに調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果:次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
処理場、管きよの維持管理(老朽化、不明水対策)	処理場については、最適化構想等に基づく修繕、更新の実施、管きよについては、更生工事による長寿命化及び老朽化による更新にて進め、不明水の削減を図っていく。